

令和4年5月24日
防 衛 省

(お知らせ)

国内初のスクラムジェットエンジン燃焼飛行試験の実施について

- 1 7月23日(土)、内之浦宇宙空間観測所(鹿児島県肝付町)において、国内初となるスクラムジェットエンジンの燃焼飛行試験が実施される予定です。この試験は、防衛省の安全保障技術研究推進制度により、宇宙航空研究開発機構(JAXA)に委託して行っている研究事業の一環です。
- 2 本研究事業は、防衛省の安全保障技術研究推進制度において、「極超音速飛行に向けた、流体・燃焼の基盤的研究」としてJAXAから提案・応募があり、防衛省として平成29年度に採択、進められているものです。スクラムジェットエンジンについて、地上での風洞試験の結果と実飛行での差異を解析の上、地上試験のデータを補正し実飛行時のデータを予測する解析ツール(数値モデル)を構築・評価することを目標としています。今回の試験は、本研究事業の一環として実飛行のデータを取得するものです。
- 3 今回の試験は、我が国のスクラムジェットエンジン技術、極超音速技術が着実に高まっていること、安全保障技術研究推進制度を通じた防衛省による基礎研究への投資の成果が表れていることを示すものです。今回の試験によって必要なデータが得られ、ひいては、本研究事業の成果が、防衛省が主体となって実施する将来の極超音速誘導弾などの研究開発に活用できることを期待します。
- 4 我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、将来にわたって我が国防衛を全うするためには、極超音速誘導弾の研究開発も通じ、我が国の防衛力を抜本的に強化していくことが急務です。防衛省として、将来の脅威もしっかりと見据え、必要な能力の獲得に向けた研究開発を着実に、そして速やかに推進してまいります。